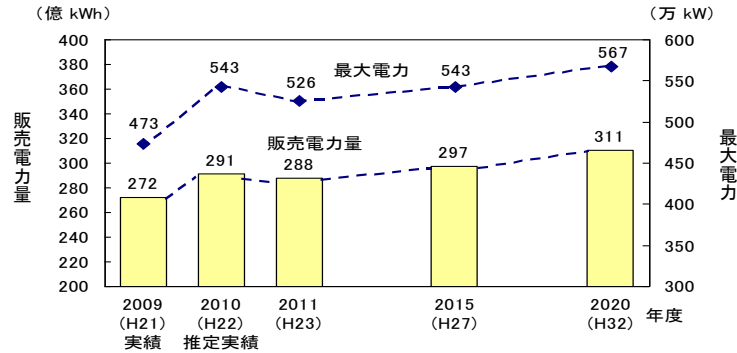


■ 販売電力量と最大電力の見通し

- ・2009(H21)～2020(H32)年度の年平均で販売電力量は1.2%、最大電力は1.0%の伸びを想定しております。



	2009年度 (H21) 実績	2010年度 (H22) 推定実績	2011年度 (H23)	2015年度 (H27)	2020年度 (H32)	2009～2020年度 (H21) (H32) 平均伸び率
民生用	134	141	139	144	150	0.9%
産業用	138	150	149	153	161	1.4%
販売電力量計	272	291	288	297	311	1.2%

(注) 民生用は、電灯、深夜電力、業務用電力の合計  
産業用は、民生用以外の小口電力、大口電力などの合計

■ 電源開発計画

- ・エネルギーセキュリティ、環境特性、経済性などの総合的な観点から、電源の多様化を着実に進めてまいります。

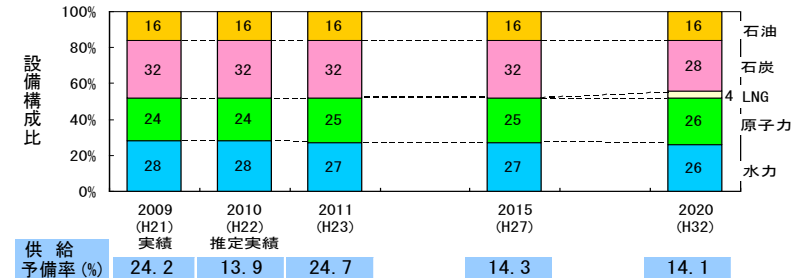
		発電所名	出力	運転開始	備考
自社	水力	有峰ダム	170kW	2011(H23)年11月	河川維持流量発電 (2010年11月 仏原ダム220kW運転開始済み)
		新猪谷ダム	470kW	2012(H24)年度	
		北又ダム	130kW	2013(H25)年度	
	新エネ	富山太陽光	1,000kW	2011(H23)年4月	メガソーラー発電所の開発 (2011年3月 志賀太陽光1,000kW運転開始済み)
		珠洲太陽光	1,000kW	2012(H24)年度	
		三国太陽光	1,000kW	2012(H24)年度	
	火力	富山新港火力 LNG1号機	40万kW級	2018(H30)年度	富山新港火力発電所におけるリプレース計画 (LNG火力の導入)
		富山新港火力 石炭1号機	▲25万kW (廃止)	2017(H29)年度	
		富山新港火力 2号機	50万kW ※1 重油・原油 ※1 →重油・原油・LNG	2018(H30)年度	
	日本原子力発電㈱	敦賀3号機	76,900kW ※2	2017(H29)年7月	北陸・中部・関西電力 三社で受電
敦賀4号機		76,900kW ※2	2018(H30)年7月		

※1 最大出力の変更を伴わず燃料種別の変更を行うもの  
※2 敦賀3、4号機は、それぞれ総出力153万8千kWの5%を受電

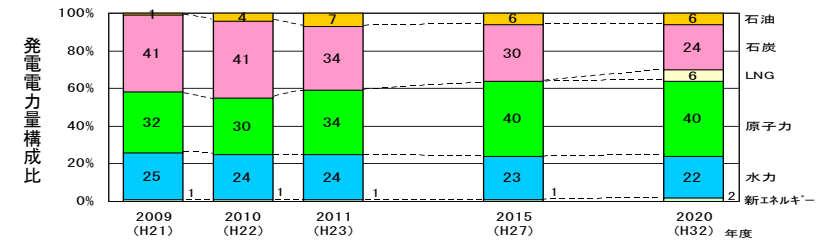
■ 需給計画

- ・志賀原子力発電所1、2号機を中核とした電源構成に加え、LNG火力を導入することにより一層の電源多様化を進め、将来にわたる電力の安定供給を確保するとともに、CO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでまいります。

(1) 設備構成比と供給予備率の見通し

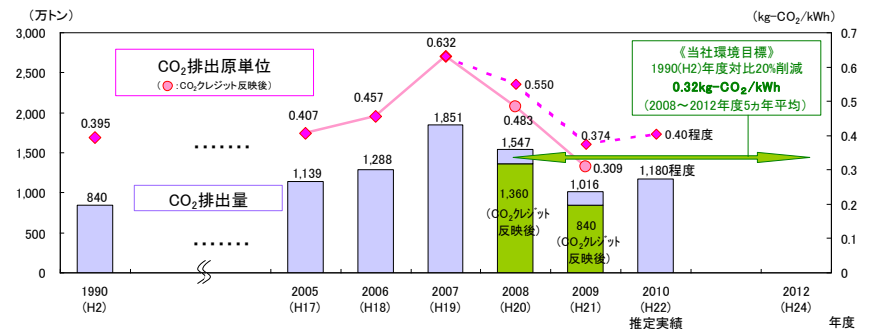


(2) 発電電力量構成比の見通し



(注) 自社需要に対応する電力量構成比を記載

■ 当社の環境目標とCO<sub>2</sub>排出原単位・排出量の推移



《当社環境目標》  
1990(H2)年度対比20%削減  
0.32kg-CO<sub>2</sub>/kWh  
(2008～2012年度5年平均)